

美術科学習指導案

活動場所 北校舎3階 2年4組教室

生徒数 2年4組 男子15人 計31人
女子16人

指導者 教諭 山内 充

1 題材名 「THE 浮世絵」(絵画の鑑賞)

2 題材について

明治の文明開化以降、西洋文化を取り入れようとしてきた結果、現代の私たちの生活は、西洋の影響を大きく受けている。その一方で、伝統的な日本文化の価値は忘れ去られているという現実もある。美術の世界においても、西洋美術に対する関心の方が高く、日本美術に目を向けることが少なくなっている。それは、人気や知名度の点において、日本と西洋の美術家や美術作品を比べてみれば明確である。

本題材では、江戸時代に発展を遂げた日本美術の代表とも言える浮世絵を取り上げ、西洋美術に影響を与えた浮世絵の魅力について探る。それにより、日本美術のよさや美しさに気づき、伝統的な日本美術をより身近に感じられるようにすることをねらいとしている。日本では消耗品でしかなかった浮世絵が、比較的なじみの深い印象派を中心とした西洋の画家たちに模倣され、影響を与えたことを理解すれば、生徒たちは日本美術への興味・関心を高め、自国の文化にも目を向けるきっかけになると考える。

本学級の生徒は、自分の作品に生かせる等の理由から、その多くが鑑賞の活動を好んでいる。しかし、日常生活で美術作品を鑑賞することがあるという生徒は少なく、特に日本美術の作品に触れる機会は少ない。また、技術や作者名・作品名の理解にとどまり、作者の生き様や作品への思い、作品が生まれた背景などに踏み込んで、作品を十分に鑑賞するには至っていない。浮世絵に関しては、興味がないという生徒が多く、歴史や作り方をほとんど知らないばかりか、作者として雪舟の名を挙げる生徒がいるなど、基礎的な知識も不足している。

そこで、指導にあたっては、浮世絵が日本では風俗画として一般に行き渡ったことや、我が国独自に発展した多色木版画であることを理解させた上で、浮世絵と西洋画の比較鑑賞により、当時の画家たちが浮世絵から何を学び、どう生かしたのかを探らせたい。その際、グループでの調べ学習や話し合い活動を充実させることにより、広い視野で作品を鑑賞できるようにさせたい。また、生徒にとってなじみの深い画家や作品をできるだけ多く取り上げることにより、興味・関心をもって、意欲的に鑑賞活動に取り組むことができるようにさせたい。終末では、西洋美術に影響を与えた浮世絵も、実は遠近法や陰影法など西洋美術の影響を受けており、文化の発展が一つの国や地域にとどまらず、様々な交流を通して互いに刺激し合い、発展するものであることを理解させたい。そのことが、洋の東西を問わず、作品のよさを幅広い自分の見方で鑑賞しようとする、今後の意欲につながると考える。

3 題材の学習目標

- (1) 浮世絵や西洋画に関心をもち、自分なりの見方で作品を味わったり、友達の意見から作品の見方を広げたりすることができる。
- (2) 浮世絵における表現の特色や独自性を理解し、伝統的な日本美術のよさや美しさを味わうことができる。
- (3) ジャポニズムについて理解し、東西美術の交流に対する関心を高めることができる。
- (4) 比較鑑賞を通して、モチーフや構図、形態表現、彩色など造形性への理解を深めることができる。
- (5) 日本や諸外国の美術への関心を高め、今後の表現や鑑賞の活動に対する意欲を高めることができる。

4 題材の評価規準

学習活動における 具体的な評価規準	想定される生徒の学習状況と手だて
	A 「十分満足できる」と想定した生徒の状況 C 「努力を要する」と判断した生徒への手だて
ア 美術への関心・意欲・態度	
① 浮世絵や西洋画に関心をもち、鑑賞活動への意欲を高めることができる。	A 浮世絵や西洋画に関心をもち、表現の特色やよさ、時代背景などを考えながら、鑑賞活動への意欲を高めることができる。 C 生徒にとってできるだけなじみの深い作品や画家を取り上げることで、鑑賞活動への意欲を喚起する。
② 浮世絵に関心をもち、その成り立ちや制作方法などを理解することができる。	A 浮世絵の成り立ちや制作方法などについて、課題意識をもちながら主体的に考え、十分に理解することができる。 C グループでの調べ学習や個別指導を充実させることにより、浮世絵の成り立ちや制作方法などについて、自分なりに理解できるようにする。
③ ジャポニズムについて理解し、東西美術の交流に対する関心を高めることができる。	A ジャポニズム現象の背景やその影響について考えながら、東西美術の交流について関心を高め、より幅広く鑑賞する意欲をもつことができる。 C ジャポニズムについては、なるべく分かりやすい資料を提示し、具体的な説明を加えることで理解を促す。東西美術の交流については、時代背景を説明し、生徒の興味を引き出すことで、関心を高める。
④ 学習内容を理解し、グループ活動に意欲的に取り組むことができる。	A グループでの調べ学習や話し合い活動において、自分の考えを積極的に発表したり、友達の意見を参考に、自分の考えを深めたりすることができる。 C グループごとに活動状況を把握しながら助言し、スムーズに活動が進むように、生徒たちの考えを引き出す。
イ 鑑賞の能力	
① 浮世絵や西洋画の表現から、よさや美しさを味わうことができる。	A 自分なりの見方で作品を味わったり、友達の意見から作品の見方を広げたりして、作品のよさや美しさに気付くことができる。 C 作品のよさや美しさについて具体的に説明し、作品の見方を理解させる。
② 作者の表現意図を考えながら、作品を鑑賞することができる。	A 作品の時代背景から、時代の流れと作者の表現意図との関わりについて主体的に考え、作品をより深く理解して鑑賞することができる。 C 作品の時代背景について確認し、生徒の考えを引き出しながら助言し、表現意図について、自分なりの考えをもたせる。
③ 比較鑑賞において、浮世絵と西洋画に共通する表現の特色を理解することができる。	A モチーフや構図、彩色などの造形性について考えながら、浮世絵と西洋画に共通する表現の特色を、自ら理解することができる。 C モチーフや構図、彩色など、比較する視点を具体的に説明し、浮世絵と西洋画に共通する表現の特色について、自分なりに理解できるようにする。

5 題材の学習及び評価計画

時間	学習の流れ	評価項目	評価方法
1	○ 浮世絵の成り立ちや作り方、作者など、浮世絵に関する基礎的な知識を身に付け、浮世絵への関心を高める。	ア-①②④ イ-①②	観察、発表 ワークシート 評価カード
2	○ 浮世絵と西洋画を比較鑑賞し、西洋の美術に影響を与えた浮世絵の魅力を探ることにより、日本美術のよさに気づき、東西美術の交流についての関心を高める。	ア-①③④ イ-①②③	観察 発表 ワークシート 評価カード

6 本時の実際 (2/2)

(1) 題材名

「西洋を魅了した浮世絵」

(2) 学習目標

ア 浮世絵における表現の特色や独自性について理解し、浮世絵が西洋美術に与えた影響について考えることができる。

イ 日本美術のよさに気づき、東西美術の交流についての関心を高めることができる。

(3) 授業設計の視点

ア 主体的に追究活動に取り組むための手だての工夫

(7) 資料提示の工夫

生徒にとってなじみの深い作品をできるだけ多く取り上げることにより、生徒が興味をもって意欲的に活動できるようにする。また、比較鑑賞の場面においては、グループごとに資料を準備する。

(4) 学習材の工夫

実際に色を塗ったり、構図の線をなぞったりするワークシートを活用することによって、表現の特色について主体的に考えることができるようにする。

(ウ) 個別指導の充実

個別指導において、課題追究のための視点を明確にし、生徒自身の考えを引き出せるよう助言する。

イ 共に課題を追究し、解決していく場の設定

グループにおける話し合い活動を充実させることにより、自分の考えを深めるとともに、友達の意見から、より幅広い見方で作品を鑑賞することができるようにする。その際、教師による助言を最小限に留め、生徒相互の意見交換によって、互いに協力しながら課題を追究し、解決できるようにする。

(4) 授業の展開

過程	時間	主な学習活動	指導上の留意点と評価（◆は評価項目）
導入	7分	<p>1 提示された作品を見て、日本美術と同時代の西洋画との関係について考える。</p> <p>2 浮世絵とそれを模写した作品を見て、なぜ浮世絵を模写したのか考える。</p> <p>3 本時の学習目標を確認する。</p>	<p>----- 視点ア(ア) -----</p> <p>生徒にとって知名度の高いゴッホの作品を提示する。モチーフとして浮世絵を取り入れた作品や、浮世絵を模写した作品から、西洋美術が日本美術に影響されたことを理解できるようにする。</p> <p>◆ 浮世絵や西洋画に関心を持ち、鑑賞活動への意欲を高めることができたか。 (ア-① 観察, 発表)</p> <p>○ 作品に関する生徒の意見から、本時の学習目標を導くようにする。</p>
		<p>西洋の美術に影響を与えた、浮世絵の魅力について考えよう。</p>	<p>○ グループで追究活動を行うことを伝え、自分なりの目標を設定させる。</p>
		<p>4 個人目標を設定する。</p> <p>5 ジャポニズムについて基本的なことを学ぶ。</p> <p>6 浮世絵とその影響を受けた作品を見て、共通点についてグループで話し合う。</p>	<p>----- 視点ア(ア) -----</p> <p>モネやマネの作品を取り上げ、ジャポニズムについて身近に感じられるようにする。</p> <p>----- 視点イ -----</p> <p>グループで共通点を探らせ、西洋画の作品が浮世絵のどのような表現に影響を受けたのか考えさせる。</p> <p>◆ 積極的に発言し、友達の意見から考えを深めることができたか。(ア-③④ 観察)</p>

展 開	35分	7 浮世絵のもつ独自性や表現の特色についてグループで考え、まとめる。	<p style="text-align: center;">----- 視点ア(ウ) -----</p> <p>モチーフや構図，彩色など，比較する視点について具体的に助言する。</p> <p>◆ 視点に沿って，具体的な共通点や浮世絵の影響について考えることができたか。 (イー③ ワークシート)</p> <p style="text-align: center;">----- 視点ア(イ) -----</p> <p>ワークシートを準備し，色鉛筆で色を塗ったり，モチーフの輪郭線をなぞることで，彩色の仕方や構図など，浮世絵の表現における特色をつかめるようにする。</p> <p>◆ 浮世絵のもつ表現の特色やよさについて理解することができたか。 (イー①② ワークシート)</p> <p style="text-align: center;">----- 視点イ -----</p> <p>互いに意見を交わしながら，浮世絵の魅力について考えを深めさせる。</p>
	8分	8 浮世絵の表現における特色を理解した上で，6の活動を振り返る。	<p style="text-align: center;">----- 視点ア(ア) -----</p> <p>マネの作品を提示し，浮世絵が与えた影響についてより深く理解させる。</p>
終 末	8分	9 西洋美術の影響を受けた浮世絵の作品を見て，浮世絵も西洋美術に学んでいることを知る。	<p>○ 葛飾北斎の作品を取り上げ，西洋美術に影響を受けている点について考えさせる。</p> <p>○ 生徒の意見を聞いて，必要があれば補足説明する。</p> <p>○ ジャポニスムとの関連を考えさせ，東西美術の交流について理解させる。</p>
		10 学習をまとめ，評価する。	<p>○ 本時の学習への取組について評価カードにまとめる。</p>